

4 海外イノベーションセンタ

イノベーションセンタにおける
グローバル拠点横断での取り組み

複雑化する現代社会において技術革新によるイノベーションがますます求められる中、最先端技術の活用力強化を目指し、NTTデータでは、2022年、世界6カ国にイノベーションセンタを設立した。イノベーションセンタでは、世界各地に点在するイノベーション人財を集約し、地域横断での最先端技術の探索および顧客との共創を推進する。

イノベーションセンタの役割

イノベーションセンタでは、5～10年後に主流になるとされる先進技術の見極めを行い、革新的な顧客と先進技術を活用した共創ビジネスの実現を目指す。世の中の技術動向を調査し、独自指標により選定する仕組みを用いて、先進技術の候補を探索・目利きを行い、お客様との実証による新たな価値を創造する。

先進技術の活用に向けた体制

イノベーションセンタは、日本・アメリカ・EMEAL地域（ドイツ・イタリア）、中国、インドに拠点を

置き、グローバル体制で地域横断的に技術検証・顧客への提案を行う。

各拠点が注力する先進技術テーマは、前述の仕組みに基づいてグローバルの技術戦略を定めたのち、各拠点の特徴を生かして分担・連携するプロセスとなっている。

現在は、メタバースや量子コンピュータなどを対象としている。

グローバルでの
顧客接点強化の取り組み

イノベーションセンタでは、最新技術を活用した顧客との共創に向け、各拠点のショールームや一元的な提案ツールの活用を推進している。

例えば、アメリカ拠点では、ビジネス上の課題解決を図るためのグ



株式会社 NTT データ
技術革新統括本部 技術開発本部
イノベーションセンタ
センタ長 古川 洋氏

ローバルなコラボレーションと共創を促進する場として Innovation Studio を設置している。ここでは、物理的な環境とデジタルな環境を融合させることで、没入感のあるインタラクティブで刺激的な環境を提供している。最新技術の展示場であることに加え、ビジネス上の課題を確認するため、顧客を交えたワークショップやラボでの体験も実施している。グローバルな専門人財が中心となり、顧客の業界知識と相乗効果が期待される技術を組み合わせることで、顧客毎にカスタマイズした体験をつくり出すことができる。そうすることで、顧客の参加を最大限に促しながら、顧客とともに最適解を導き出す。

Innovation Studio では、世界的な

先進技術の評価を行い、革新的なお客様とのパートナーシップ形成を目指します。

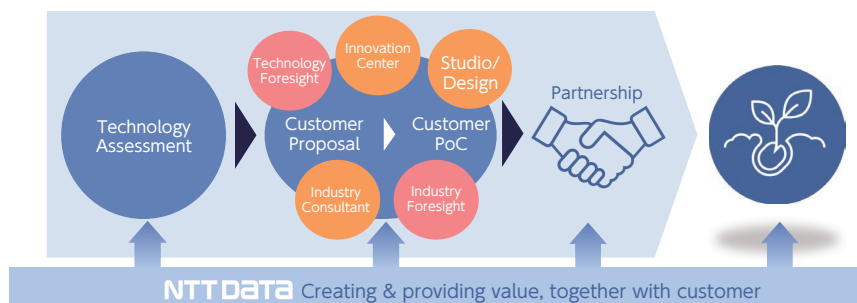


図1 イノベーションセンタにおける検証・提案プロセス



図2 Innovation Studioの物理環境とバーチャル環境

パンデミックが契機となり、物理的な体験を世界中の顧客にどのように届けるかが課題となった。物理的なラボの機能を取り込み、バーチャルな空間に変換。何度も機能拡張を繰り返し、仮想の展示環境を構築した。これにより現地訪問が難しい顧客も、柔軟にリモートでInnovation Studioの環境を体験できるようになった。

また、イノベーションセンタでは、提案用プラットフォーム・Demo Cornerを拠点共通で活用し、顧客提案のスピードおよび質を高めようとしている。Demo Cornerは、取り組み事例を効果的に顧客に提案するため、デザイン領域に強みを持つイタリアチームが中心となり設計・開発したもので、統一された枠組みでプレゼンテーション資料やデモ動画などの資料を提示できる。

イノベーションセンタの戦略チームが中心となり、拠点間における共通の運用方針や利用ルールを議論しながらこのような共通基盤の整備を進めている。提案力の強化により、顧客との共創が促進されることを期待している。

拠点間での連携推進

イノベーションセンタでは、各拠点のリーダー層が中心となりコミュニケーションを行う場として、隔週でSteering Committeeを開催している。通常は、各地からオンラインで接続し、直近の重要トピックスについて情報連携や議論を行うのだが、10月27日には、NTTデータの連携先であるMITメディアラボの秋季イベント*開催に合わせて、現地で対面でのミーティングを実施した。毎回、予定時間をオーバーするほど活発な議論が行われるが、対面ではそれ以上の盛り上がりを見せ、「拠点間の連携体制がより深まっ



図3 ボストンに各拠点のリーダーが集まりオンサイトミーティングを実施

た。」「また集まりたい。」という声も聞かれた。

これらの活動の成果として、複数拠点での連携プロジェクトが増えてきている。例えば、量子コンピュータ関連では、欧州の金融系顧客に対して、欧州・日本チームが連携して提案を行っている。また、メタバース関連では、北米の顧客に向けて、北米・欧州チームが合同でワークショップを実施するなどしている。

今後も密なコミュニケーションを継続し、より強固な連携体制・成果の実現を目指す。

未来に向けた価値創造

イノベーションセンタでは、メンバーに対し、お客様との長期的なビジョンを考える際、既成概念に囚われることなく10年、20年先まで想像を広げ、エコシステムの全体最適や、より良い未来について考えてほしいと伝えている。グローバルで一丸となり、長期的な価値を考え、社会課題を解決することによって、サステナブルな社会の実現に貢献できるだろう。

* MIT Media Lab Fall Meeting 2022 : <https://www.media.mit.edu/events/mit-media-lab-fall-meeting-2022/>